

《校区でどんたくパレード参加》

＝どんたく参加で連帯感を深めよう＝

福岡市 美和台公民館【公立公民館】 館長 原口 清美

- ① 事業名 福岡市初の校区どんたくパレード隊結成
- ② 事業の目的 毎年5月のゴールデンウィークにおいて、全国で一番人出の多い祭りである「博多どんたく港まつり」に参加することで連帯感を深める。
- ③ 実施主体 校区の有志で編成
- ④ 連携・協力機関・団体等
自治協議会・各種団体・公民館サークル
- ⑤ 予算経費等 特別に予算化はしていないが、必要経費としては、パレード用の車両の装飾やのぼりの準備およびパレード車両の道路使用許可申請に伴う費用が必要になります。なお、交通費は個人負担としました。

⑥ 実施に至る経緯（背景）

美和台校区は、福岡市東区の最北部に位置し、東側にJR鹿児島本線の福岡工業大学前駅、西側に西日本鉄道貝塚線（旧宮地岳線）の三苦駅に囲まれており、地形的に和白丘地区と美和台地区から成り立っています。和白丘地区は、古い歴史を有し、現在ではマンションや集合ビルが立ち並び、また商店や病院、医院などが多いのが特徴です。一方、美和台地区は、日本の高度経済成長期であった昭和44年頃から宅地開発され、昭和47年から入居が始まった戸建て中心の住宅地です。最近では三苦駅周辺に高層のマンションなどが建設されています。

平成26年9月末現在、

面積：2.06km²

世帯数：6,644世帯

人口：15,560人

高齢化率：25.0%

以上のように、高齢化が進んできたことと校区内は非常に坂が多く日常生活でも支障をきたす恐れが出てきたことで、地域での連帯感をより一層強めていくことが必要になってきました。

⑦ プログラム作成の視点

全国で一番人出の多い行事である博多どんたくは、筑前国続風土記（貝原益軒著）に記載されている「松ばやし」がその起源とされ、およそ830年余の伝統行事とされています。明治5年に一旦中止となりましたが、明治12年に再開され、オランダ語の「ゾンターク；休日」の意味がその語源と言われています。その後、戦時中一時中断されましたが、戦後昭和21年復活され、昭和37年市民総参加の「福岡市民の祭り＝博多どんたく港まつり」となり、毎年5月3、4日に行われ、どんたく隊は延べ約650団体、出場者約3万3千人、見物客約200万人、日本で一番人出の多い祭りと言われています。美和台校区は平成22年度から参加し、昨年5月、5回目となりました。

⑧ 事業の内容

手作りのプラカードを先頭にポンポンなどを持って踊りながら装飾された車両を中心に子どもから高齢者まで約100人が横4列に並んで楽しくパレードをいたします。

⑨ 事業の成果

美和台校区どんたく隊は、気軽に誰でも参加でき、緊張することもなく楽しくみんなで約1.3キロの距離をパレードができ、沿道の見物客から励ましの声がかかるなど楽しいひと時が過ごせて、熱い想いが残っています。

これからも、誰でも気軽に参加でき、連帯感を深めていく事業として「校区で参加するどんたくパレード隊」を継続していきたいと思っています。また、パレード終了後の反省会が楽しみで親密感も一段と増しているようであります。

⑩ 今後の課題

このどんたくパレード隊については、引き続き参加することで今のところ問題はないようです。しかし、校区全体の課題としては、高齢化率が25%となり、また坂が多いことで日常の買い物や病院等への通院が困難となっていることから、平成24年および平成25年の2回にわたりコミュニティバスの社会実験を実施しましたが、運行事業者である西日本鉄道（株）において運営が厳しいということになり、現在中止されています。現在、本格的な実施にならないか福岡市及び西鉄と協議を進めているところであります。

⑪ 問い合わせ先

〒811-0212 福岡市東区美和台1丁目3-12 福岡市美和台公民館

☎ 092-607-0294 FAX 092-607-4342

E-mail : miwadai80@jcom.home.ne.jp

美和台校区どんたく隊

パレード風景

手作りプラカード
(材料：厚紙と模造紙)



手作りポンポン
(材料：荷造り紐)

音源用車両
(賛助会費で購入した軽トラック)
(防犯用青色パトロールカー)

